

PIIAKnots
Public Interest Incorporated Association
公益社団法人ノッツ

公益社団法人Knots ノッツ・結び目
WEBサイト <http://knots.or.jp>

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

お話：笹井和美 先生

公立大学法人大阪府立大学
獣医学専攻 専攻長・教授

春の訪れとともに奈良公園で、今年初めてのシカの赤ちゃんの誕生が報じられた。奈良公園のシカは春日大社の社伝によると、約1300年の昔から、大切に保護されてきた経緯があり、1957年には国の天然記念物「奈良のシカ」として奈良市一円にて指定されました。「奈良のシカ」は野生動物であり、奈良在住の方以外に、奈良を訪れる多くの観光客と長きに渡り共生し、奈良を代表するシンボリックな存在となっている。

奈良のシカは野生、人社会との共生に英知を
一方、環境省の調査によると、シカは全国で分布を拡大し個体数が増加している。シカの増加により、全国で生態系や農林業に及ぼす被害が深刻な状況となっている。奈良県では、観光客からお菓子などが与えられるとシカは健康を害して死に至るケースも認められるため、県は鹿せんべい以外の餌付けの抑制などに向け、条例化も含めた具体策の検討に乗り出した。一方、全国と同様に奈良県においても、シカによ



る被害が多発しており、「奈良のシカ」の主要生息地を「保護エリア」として維持したまま、その周囲の山間部を捕獲による頭数の調整が可能

能な「管理エリア」に区分し、本年7月にもシカの初めての捕獲が実施される可能性が高まった。

1300年前から続いてきた人とシカとの共生関係は新たな局面

に突入した。本例が示すように人と特に野生動物が共生していくことには困難な場合が多く、問題解決には動物を愛する人や、そうでない人、不利益を被っている人、動物に関心がない人などの利害をうまく調整する必要がある、人を含めた動物が関わる諸問題は、「相手の気持ちになって考える」ことが解決の最短距離であると考えられる。現在、獣医師養成機関で職を得る身として、問題解決能力を有する人材を輩出できるように努めます。